

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：Histo-Clear II
製品番号：HS-202（メーカー略号：NDS）
構成品名：Histo-Clear II
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

誤えん有害性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

眠気又はめまいのおそれ

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

- 漏出物を回収すること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 無理に吐かせないこと。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

- 燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	官報公示整理番号
石油ナフサ	70-90	64742-48-9	9-1689; 9-1690; 9-1694; 9-1700
D-リモネン	10-30	5989-27-5	3-2245; 7-988; 8-498

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 石油ナフサ

4. 応急措置**吸入した場合**

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

- 口をすすぐこと。吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。
- 直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

- 救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。
- 火気に注意する。適切な換気を確保する。(眠気、めまいのおそれがある)

医師に対する特別な注意事項

- 腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
- アレルギーを起こすおそれがある製品。医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

- 粉末、泡、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水(効果がないおそれがある)

特有の危険有害性

火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

常温で保存すること。物理的衝撃から保護すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：

(石油ナフサ)

ACGIH TLV: 300ppm

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で行う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性)

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：162-182°C

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：40°C

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：2.0 mmHg@20°C

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

酸化可能な液体および蒸気。発火源、酸化剤、強酸を避けること。

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

熱、火気、静電気

混触危険物質

強酸、強酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(D-リモネン)
ヒト パッチテスト: 痛みなど (CICADs No.5, 1998)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性
皮膚感受性
[日本公表根拠データ]
(D-リモネン)
cat. 1; CICADs No.5, 1998
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性
(D-リモネン)
IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない
(石油ナフサ)
EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質
催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし
誤えん有害性
[Supplier's data]
(石油ナフサ)
摂取による毒性は最小限であるが、摂取または嘔吐中に少量のこの製品が呼吸器系に吸引されると、軽度から重度の肺損傷を引き起こし、場合によっては死に至る可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(D-リモネン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.421mg/L/48hr (NICNAS, 2002)
水溶解度
(D-リモネン)
非常に溶けにくい (25°C) (ICSC, 2005)
(石油ナフサ)
溶けない (ICSC, 2001)
残留性・分解性
(D-リモネン)
急速分解性なし (BIOWIN)
生体蓄積性
(D-リモネン)
log Pow=4.2 (ICSC, 2005)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1268

品名(国連輸送名)：石油蒸留物、N.O.S.又は石油製品、N.O.S.(脂肪族およびテルペン炭化水素)

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

容器等級：III

指針番号：128

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当)：該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類) D-リモネン

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。

船舶安全法 引火性液体類 分類3

航空法 引火性液体 分類3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

有機則 第3種有機溶剤等 石油ナフサ

名称等を表示すべき危険/有害物 石油ナフサ(別表第9の330)

名称等を通知すべき危険/有害物 石油ナフサ(別表第9の330)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・引火性の物(30℃ ≤ 引火点 < 65℃)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物 第4類 引火性液体第2石油類(非水溶性) 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版(2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。